教科目名　世界史（History of World）

学科名・学年　：全学科　２年

単位数など　：必修　２単位（前期１コマ，後期１コマ，学習保証時間 45 時間）

担当教員　：田中美穂

授業の概要

世界のさまざまな地域の古代から現代までの歴史を学ぶことを通して，広い教養や知識を身につけ，物事を多面的に考える力を養う．とくに，現在起こっている「世界の諸問題を考えるために歴史を学ぶ」という立場で授業を行う．

達成目標　　**大分高専目標(A1)**

（１）過去とのつながりを尊重しつつ，現代を考える力を身につける（定期試験）．
（２）歴史を学ぶことで，世界のさまざまな民族・宗教・国家の成立について理解する（定期試験）．
（３）世界各地の多様な歴史を重視し，平和な世界をいかに築いていくべきかについて考える（定期試験）．

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	オリエント文明の形成 古代ギリシアとローマ帝国 イスラーム世界の形成 イスラーム文化と東ヨーロッパ世界 西ヨーロッパ世界の成立と変動 大航海時代とルネサンス 宗教改革と近代主権国家の成立	○前近代のヨーロッパ史の流れを理解できる ○キリスト教世界とイスラーム世界との関係について理解できる ○近代国家の成立について理解できる	【理解の度合い】
8	前期中間試験		【試験の点数】　点
9 10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説 南北アメリカとアフリカ 産業革命とアメリカ合衆国の成立 フランス革命とウィーン体制 国民国家の建設とヨーロッパの文化 帝国主義と世界の分割 第一次世界大戦とロシア革命	○近代市民社会の形成について理解できる ○世界史の発展とグローバル化の流れが理解できる ○列強による帝国主義的な植民地支配の問題について理解できる	【理解の度合い】
15	前期期末試験		【試験の点数】　点
	前期期末試験の解答と解説		
16 17 18 19 20 21 22	古代インド文明と東南アジア世界 東アジア・内陸アジア世界の形成 モンゴル帝国の興亡 アジア諸地域世界の繁栄 イスラーム諸国家の繁栄とアジアの民族主義 アジアの独立運動と革命 世界恐慌とファシズム	○中国を中心とする東アジア史の流れを理解できる ○アジア諸地域と世界との関係について理解できる ○アジア諸地域の近代化の動きについて理解できる	【理解の度合い】
23	後期中間試験		【試験の点数】　点
24 25 26 27 28 29	後期中間試験の解答と解説 第二次世界大戦 冷戦とアジア・アフリカ諸国の独立 平和共存の模索 多様化する地域紛争と冷戦の終結 グローバル化する社会と９．１１事件 ２１世紀の課題：核・環境・民族紛争	○現代史の流れを理解できる ○資本主義圏と社会主義圏との関係について理解できる ○多様化する世界の流れが理解できる ○現在の世界の諸問題について理解できる	【理解の度合い】
30	後期期末試験		【試験の点数】　点
	後期期末試験の解答と解説		

履修上の注意	授業中にノートをきちんと取り，しっかり予習と復習をすること．	【総合達成度】
教科書	相良匡俊ほか著『新選世界史Ｂ』東京書籍．	
参考図書		
関連科目	日本史（１年），歴史学概説（５年），歴史学特論Ⅰ・Ⅱ（専攻科１年）．	
評価方法	定期試験により評価する．評価が６０点以上を合格とする．	【総合評価】　点